

## 考古学から戦争を考える

松木 武彦（国立歴史民俗博物館 教授）

はじめに ーなぜ、考古学で戦争を研究するのかー

### 1. 佐原真による戦争の考古学的研究

- （1）戦争の考古学的証拠
- （2）農耕と戦争

### 2. 戦争の考古学的研究・最近の視点

- （1）農耕・人口・資源
- （2）人口復元と戦争の痕跡

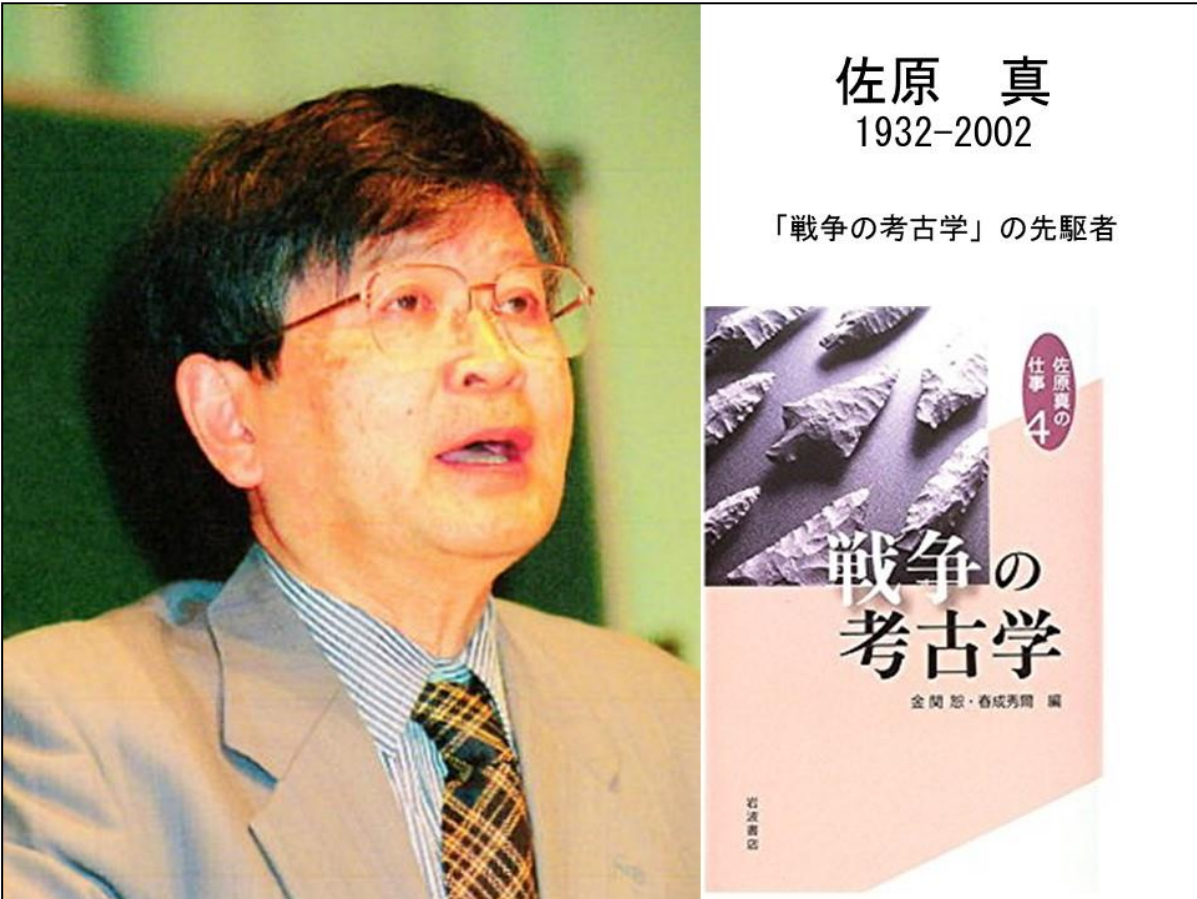
### 3. 人類学からみた戦争

- （1）進化人類学からみた暴力・戦い・戦争
- （2）文化人類学が見てきた民族社会の戦争

### 4. ヒトとは何か、戦争とは何か ーふたたび考古学から考えるー

#### <参考文献>

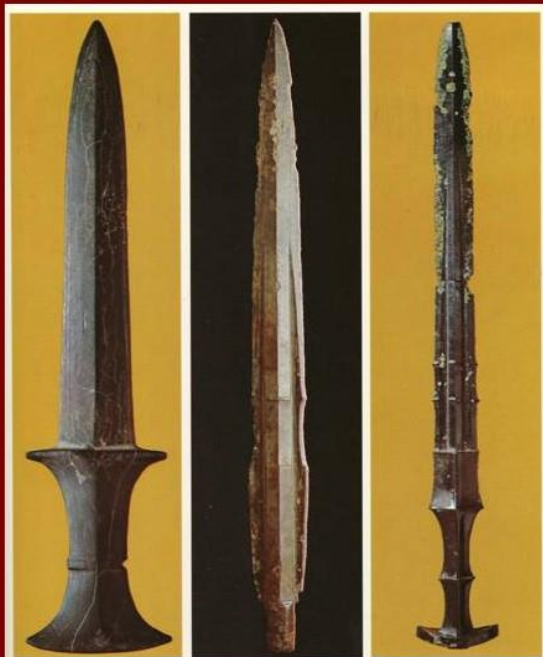
- 佐原 真（金関 恕・春成秀爾編）2005『戦争の考古学』（佐原真の仕事4）岩波書店  
松木武彦 2017『人はなぜ戦うのかー考古学からみた戦争』中公文庫



# 戦争の 6つの 考古学的証拠

- 対人用武器
- 防御施設
- 受傷遺体
- 武器副葬
- 武器崇拜
- 戦争芸術

## 1. 対人用武器



石剣

青銅剣

青銅剣



10 狩猟用の縄文時代の石鏃(左上3.0cm)/横浜市内



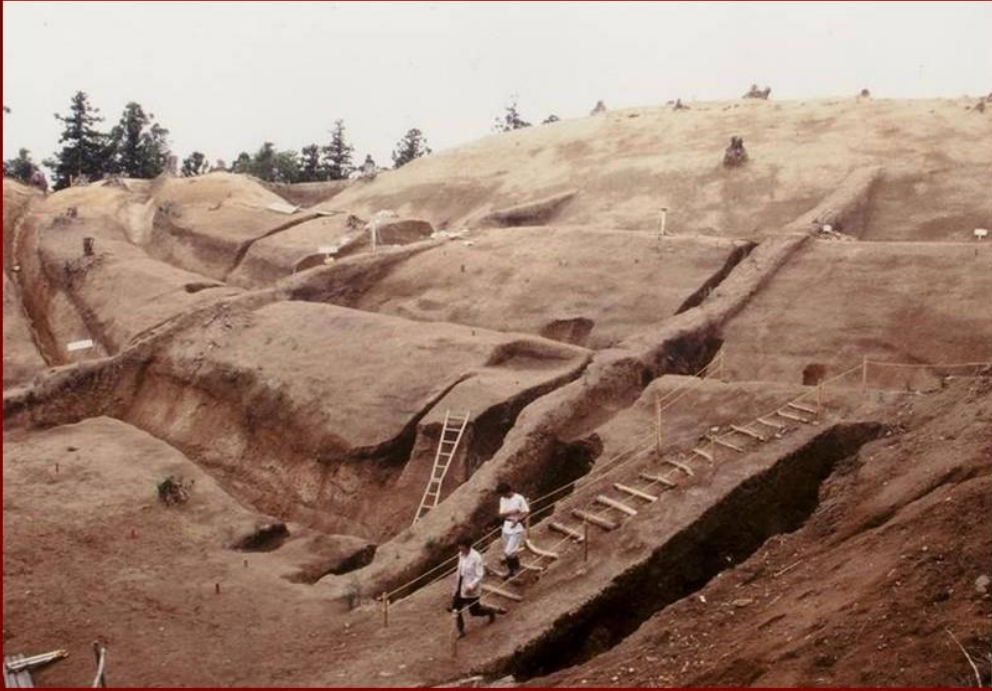
11 大型化した弥生時代の石鏃(左上7.5cm)/奈良県唐古・鍵遺跡

武器として大形化した石鏃(下)

(横浜市歴史博物館編1995『弥生のいくさと環濠集落』より)

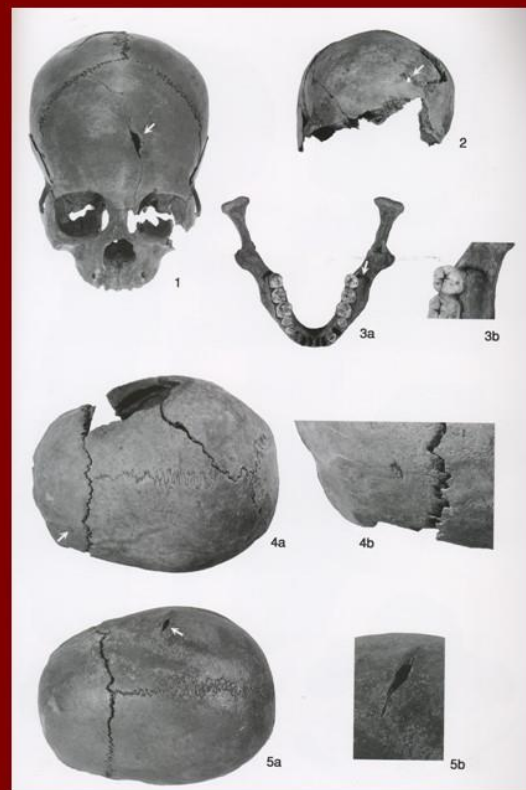


## 2. 防御施設



島根県田和山遺跡(弥生時代)

## 3. 受傷遺体



鳥取県青谷上寺地遺跡(弥生時代)

(鳥取県青谷上寺地遺跡、鳥取県教育文化財団編2002『青谷上寺地遺跡』4より)

#### 4. 武器副葬



大阪府豊中大塚古墳(古墳時代)  
豊中市教育委員会1986『摂津豊中大塚古墳』より



#### 5. 武器崇拜



銅矛の形をした祭りの道具  
(弥生時代)

(高知県天崎遺跡出土、高知県文化財団  
埋蔵文化財センター編1999『天崎遺跡』よ  
り)





## 6. 戦争を表した芸術(埴輪)

猪熊兼勝『埴輪』  
日本の原始美術6、  
講談社 より

### 日本列島における戦争の考古学的証拠とその消長

戦争の考古学的証拠	縄文時代	弥生時代	古墳時代	律令期
対人用武器	×	○	◎	○
防御施設	×	◎	△	△ (辺境)
受傷遺体	△	◎	△	×
武器副葬	×	○	◎	△ (主に辺境)
武器崇拜	×	○	△	×
戦争の芸術	×	△	○	×

<凡例>

◎たくさんある ○ある △ごく少ない ×ない

農耕⇒戦争？



Wikipedia

## 農耕と戦争の因果関係

### 1) 出生率の向上

- 離乳食: 授乳期間の短縮
- 出産間隔の短縮
- 女性1人当たりの出産数の増加



### 2) 平均寿命の伸長

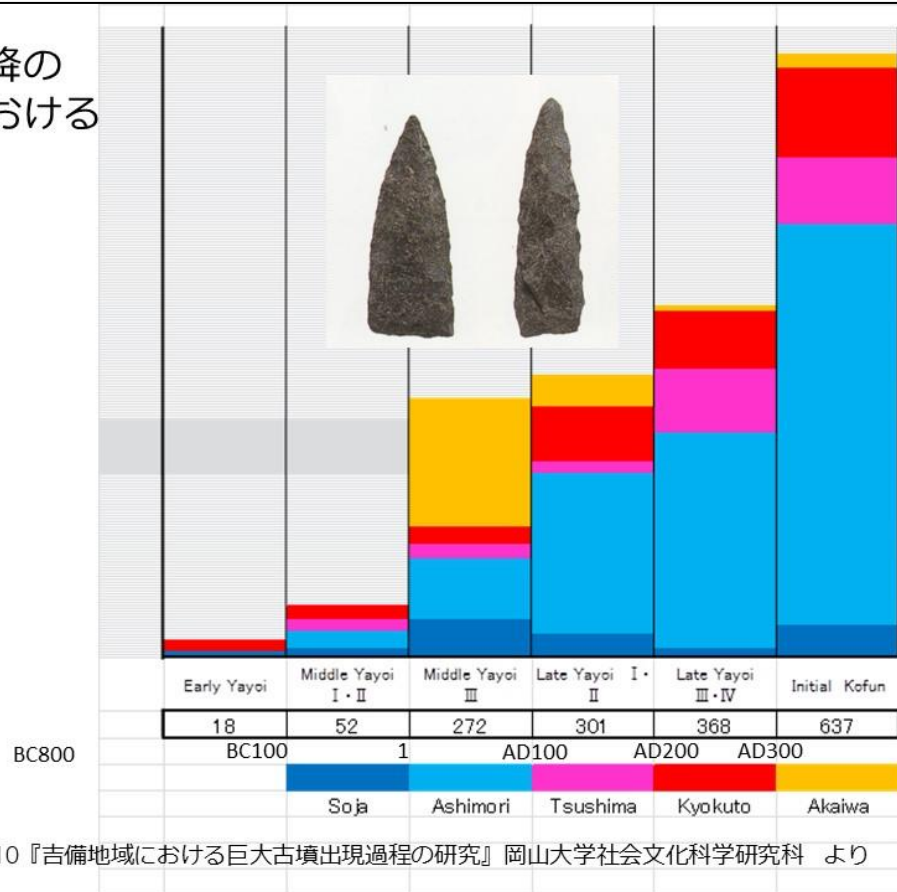
- 乳児死亡率の低下
- 高齢者の増加



→ 人口の増加、資源量との拮抗



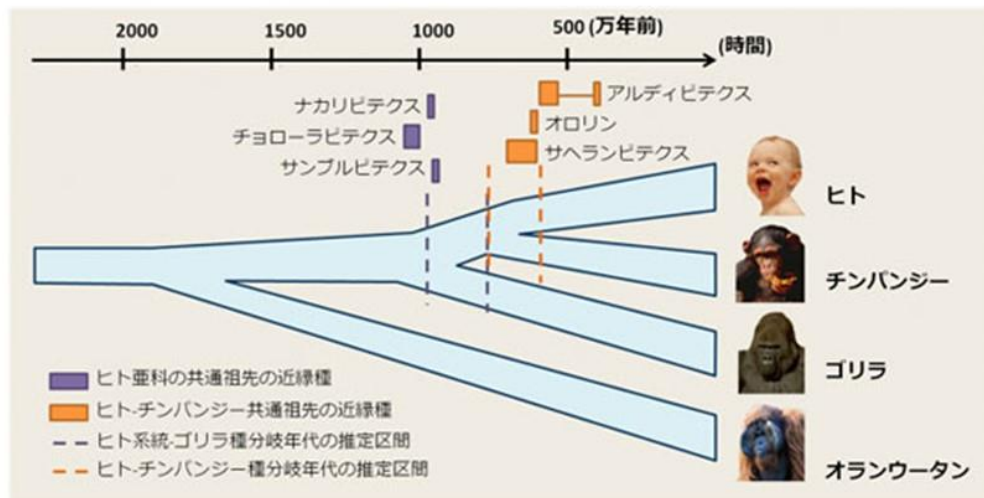
## 農耕導入以降の 岡山平野における 人口増加



## 戦いの起源としての暴力

ーヒトに暴力の「本能」はあるのか？

### ヒトと近い動物たちの暴力



[https://www.aist.go.jp/aist\\_j/new\\_research/2013/nr20130115/nr20130115.html](https://www.aist.go.jp/aist_j/new_research/2013/nr20130115/nr20130115.html)



## チンパンジーの「戦い」



群れ同士の争いに備えて領域を  
パトロールするオスたち



序列をめぐるオス同士の競争  
グドール, J1990『野生チンパンジーの世界』ミネルヴァ書房

## 個人の暴力(闘争)と集団の暴力(戦争)

### 個人の暴力

自らと血縁者の生命を守るために行う

・・・生物学的には「合理性」がある

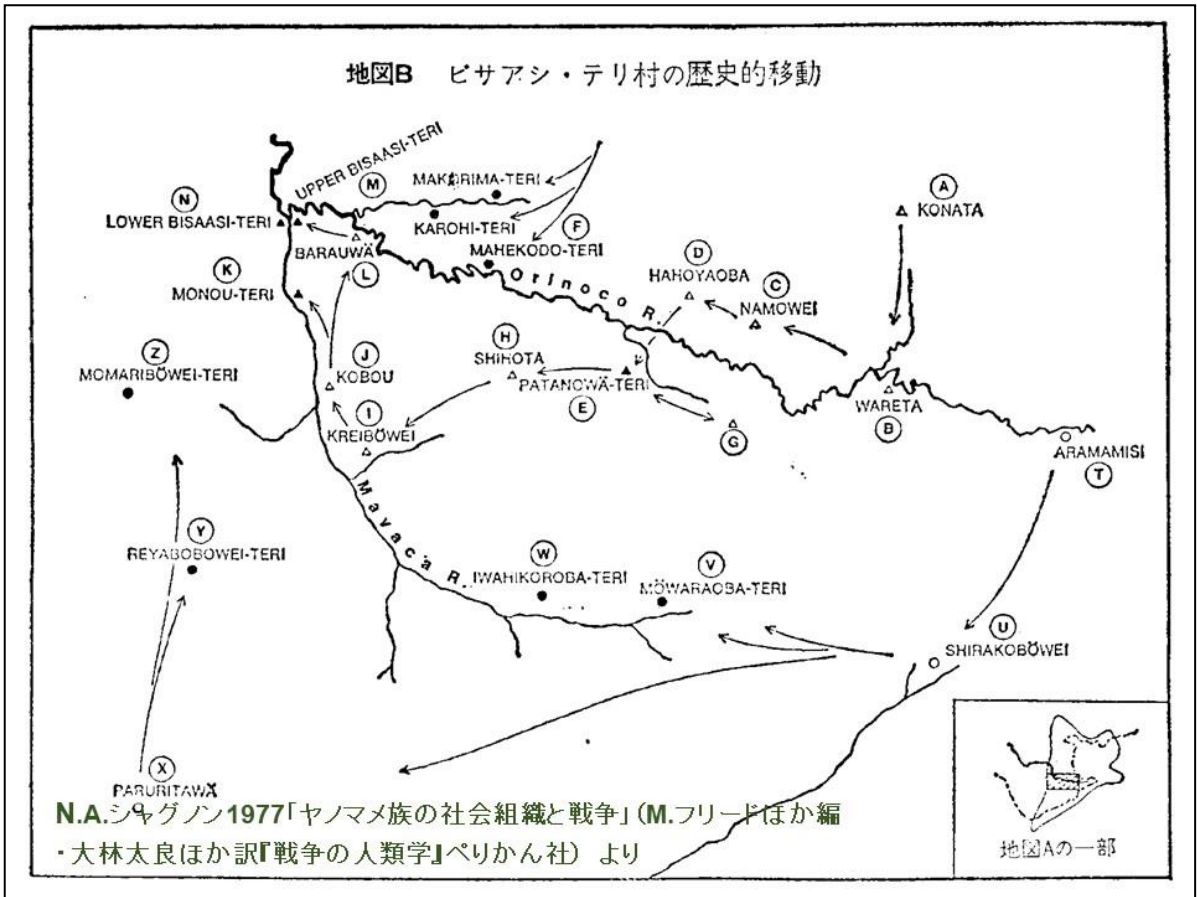
### 集団の暴力(戦争)

集団の存続やそこへの帰属、自分の名誉や  
威信の獲得のために行う

・・・生物学的な「不合理」を、

文化の力が覆いかくしている。





## 利己と利他 ヒトの認知と行動の両軸

私的  
個人的  
排他的



富裕財独占  
戦争

共同体的  
集团的  
協調的



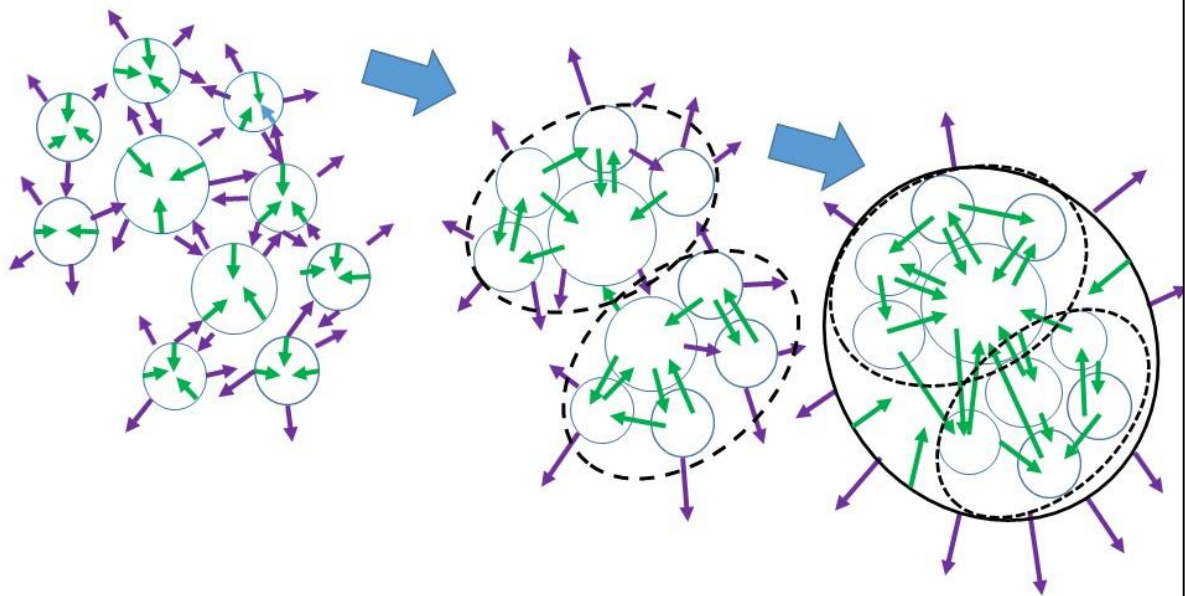
資源共有  
同盟

ドゥ・ヴァール2014『道徳性の起源: ボノボが教えてくれること』紀伊国屋書店  
ヒト以前の霊長類の認知進化における●の発達を強調

ボーム2014『モラルの起源—道徳、良心、利他行動はどのように進化したのか』白楊社  
ヒトの社会進化の中で●が発展した仮説を提示

ピンカー2015『暴力の人類史』青土社  
(敷衍) 古代以降の社会・文化進化において●の文化が●の文化に対して比重を高める過程を叙述

## 利己と利他の「界面」



→ 利己・対立的な意識、cognitive codeの形成、コミュニケーション

→ 利他・協調的な意識、cognitive codeの形成、コミュニケーション